

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム寿生の家

## 目標達成計画

作成日: R4 年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己評価番号	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関などに鍵をかけることはなく、帰宅願望時はできるだけ付き添って対応し穏やかに過ごせるようにしているが、帰宅願望が強い方が外に出ようとされたりする時の対応が難しい。身体拘束(スピーチロック)にならないようにしながら常に安全で快適に過ごしてもらえると良い。	スピーチロックなどのグレーゾーンと言われる行為をなくし、安全で穏やかに生活を送ってもらえるようにする。	身体拘束(グレーゾーン)についての勉強会を行う。 お互いに注意し合える人間関係を保って勤務する。	6ヶ月
2	14	年に6回の勉強会を行っている。また法人内研修会にも参加して、自己研鑽しながら看護・介護を提供しているが、コロナ禍でもあり外部研修に参加できていなかった。	外部研修に参加し、広く情報を得て、看護・介護にあたる。	リモート研修を活用して年に1回は必ず外部研修に参加する。 職員同士の情報の共有を積極的に行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。